

おわりに

安倍総理は平成27年の年頭所感にあたり、70年前に戦後の焼け野原の中から敢然と立ちあがり、東京オリンピックの成功、さらには高度経済成長を成し遂げたかつての日本人の姿を思い起こし、「なせば成る」という言葉で、日本を再び世界の中心で輝く国としていく決意を述べられました。

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」

米沢藩主上杉鷹山のこの言葉は、私も座右の銘とするものであります。

鷹山は、窮地に追い込まれていた米沢藩において、財政再建、産業の開発、精神の改革という3つの大きな改革を行うことで見事に建て直し、その精神は、今なお米沢市民の心に深く息づいていると言われております。鷹山は、「仁愛」の心をもって家臣、領民のために自ら率先して難局に立ち向かい、自身も質素儉約に努める一方で、治山治水による新たな耕地の開発、米沢藩の強みを生かした彫刻や織物などの特産品化による地域産業の創出を行うなど、いち早く地域の持つ可能性に着目し、地域の力を掘り起こすという現代の地方創生の先駆者でありました。

平成27年度施政方針を申し述べるに当たり、私自身、不撓不屈の強い信念のもと率先垂範して、ふるさと新居浜の発展に全身全霊を打ち込み、取組を進めてまいり所存でございます。そして、我々の祖先が脈々と発展させてきたこの光り輝くふるさと新居浜を、今を生きる私たちの使命として、子や孫の世代、さらには50年、100年後の未来に引き継いでいかねばなりません。そのためにも、地域の力を結集して地方創生を成し遂げなければなりません。

どうか、議員の皆様、市民の皆様におかれましても、「ともにつくろう笑顔輝く新居浜市」の実現、さらには本市が目指します地方創生の実現に向けまして、チーム新居浜の一員として一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。